

2017(平成 29)年 1 月 4 日

プレスリリース

東燃ゼネラル石油株式会社

問合わせ先:

広報 CSR 統括部

TEL: 03-6713-4400

本日、2017 年の始業日を迎え、東燃ゼネラル石油(株)代表取締役社長 武藤潤より、従業員に向けて、以下要旨にて年頭所感を表明しましたのでお知らせします。

2017 年 社長年頭挨拶

皆さん、明けましておめでとうございます。皆さんお一人おひとりが健やかにそして新たな希望と抱負を胸に新年を迎えられたことと思います。最初に 2016 年の皆さんの努力と貢献に心から感謝いたします。

【昨年(2016 年)の取り組み】

安全面では、川崎工場および和歌山工場の大型定期整備工事を休業災害ゼロで完遂できました。引き続き、「誰もケガをしない、させない」に向けて、グループをあげて全力で取り組んでいきましょう。皆さんの弛まぬご努力をお願いします。

次に、内部統制の面では、昨年後半に実施した少人数単位での「業務遂行基準」を正しく理解し確認することを目的としたビジネス プラクティス レビューを含め、取り組みの再徹底を図りました。「正直・誠実・公正」は、「安全・健康・環境」と並んで、我々の価値観の根源をなすものです。一人ひとりが、高い意識の下、この価値観に基づいて行動するようにお願いします。

続いて、中期経営計画(2013 年発表)で掲げた戦略の柱である「コアビジネスの強化」と「成長戦略の展開」について昨年の進捗状況を振り返ります。

「コアビジネスの強化」では、これまで取り組んできた活動が更に大きく進展した 1 年になりました。いくつかの具体例は下記の通りです。

- 選ばれる価値・喜ばれる価値の向上については、SS ネットワークの強化に向けて、Drivers'Link プログラムの導入、セブン - イレブン複合店の継続出店、そして、業界初のドライブスルー型ドトール複合店の開店
- 潤滑油事業ではトヨタ向け等の省エネ性能に優れた新製品の開発および高付加価値合成油の増販達成; Mobil 1™は 5 年連続増販、産業用合成油は 3 年連続最高販売数量更新
- 千葉工場においては混合キシレン回収装置新設によるガソリン-to-ケミカルのさらなる推進
- 省エネ法に基づくエネルギーベンチマーク達成事業者の 5 年連続認定
- 部門横断的な取り組みを通じての収益の最大化については、燃料販売・ケミカル・工場・供給などが協働しての市場動向への柔軟な対応、また装置トラブル時の潜在的ロスの回避

「成長戦略の展開」のひとつである電力事業においては、販売面では、電力小売サービス(低圧)の提供を東京電力、関西電力、および中部電力のエリアで開始しました。発電面では 出資しているイーレックスニューエナジー佐伯株式会社の発電所が商業運転を開始し、また、日揮株式会社と共同で北海道室蘭市においてバイオマス発電事業を実施する計画も発表しました。

このように昨年様々なハイライトがありましたが、加えて、経済産業省と東京証券取引所より2年連続で「健康経営銘柄」に選定されるという特筆すべきニュースもありました。皆さん、一人ひとりの健康は、かけがえないものです。日ごろより高い有給取得率、残業の削減などワークライフバランスのとれた健全な職場の維持に努めていますが、会社のサポートのもと、皆さんが健康に対する意識を更に高め、自発的に努力されることを期待しています。

【2017年へ向けて】

昨年12月21日、東燃ゼネラル石油とJXホールディングスそれぞれの臨時株主総会において、経営統合が承認されました。私たちは次の大きな一歩を踏み出します。本年4月1日の統合に向けて現在、両社のメンバーからなる専門委員会を中心に準備を進めていますが、時間が限られる中、優先順位を見極め、統合グループにとって最適と思われる方法で、無事に統合の日を迎えることが大切です。「国際的な競争力を有するアジア有数の総合エネルギー・資源・素材企業グループ」を目指す経営統合へ向け、力を合わせ、私たちの価値観を大切にしながら、日々の業務、そして、統合への準備に着実に取り組んでいきましょう。

2017年を輝かしい未来に向けた新たなスタートの年にするのを共に誓い、年頭の挨拶とします。

2017年1月4日

東燃ゼネラル石油株式会社
代表取締役社長 武藤 潤